



# 第29回日本糖尿病教育・看護学会学術集会

## The 29th Annual Meeting of Japan Academy of Diabetes Education and Nursing

### 演題登録

演題登録期間：2024年3月7日(木)～4月24日(水)正午まで

### 参加登録

区分	会員	非会員	学生
早期参加登録 2024年5月7日(火)正午～8月9日(金)正午	7,000円	10,000円	3,000円
後期参加登録 2024年8月9日(金)正午～10月31日(木)正午	9,000円	12,000円	4,000円

※専修学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院、認定看護師教育課程在籍中の方は学生でご登録いただけます。オンライン登録時に学生証の写し(画像ファイル)をアップロードしてください。

### プログラム

#### ■基調講演

西平 直 (上智大学グリーンケア研究所)  
「ケアのわざとその継承—守破離の知恵から」

#### ■特別講演

福井トシ子 (国際医療福祉大学大学院)  
「地域における糖尿病療養支援の強化」  
奥野 恭史 (京都大学大学院医学研究科)  
「AI・ビッグデータが拓く医療の新しいカタチ」  
宮田 俊男 (早稲田大学理工学術院)  
「DX時代の診療・看護の新しいカタチ」

#### ■教育講演

中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科)  
「アウトカムの創出：研究方法から実装まで」  
久米 真司 (滋賀医科大学内科学講座)  
「超高齢社会で求められるCKD/DKD診療の現状と課題」  
石井好二郎 (同志社大学スポーツ健康科学部)  
「運動不足・糖尿病から始まるサルコペニア・フレイル」  
山崎 真裕 (京都第二赤十字病院)  
「CGMの基礎と実臨床での応用」

#### ■教育セミナー

青木美智子 (千葉中央メディカルセンター)  
「JADENが創り上げてきた糖尿病透析予防看護(仮)」

#### ■シンポジウム

「マルチ・モビリティ時代のケア・コーディネーション」  
「糖尿病患者のエンド・オブ・ライフケアを考える」  
「就労している糖尿病患者を支える新しい連携の創出に向けて」

#### ■ミニレクチャー

「病みの軌跡」 黒江ゆり子 (関西看護医療大学)  
「自己効力感」 安酸 史子 (日本赤十字北海道看護大学)  
「スティグマ」 加藤明日香 (東京大学大学院医学系研究科)  
「看護における連続性」 河井 伸子 (大手前大学)  
「看護の教育的かわりモデル」 河口てる子 (聖隷クリストファー大学)  
「エンド・オブ・ライフケア」 谷本真理子 (東京医療保健大学)  
「セルフケア能力」 本庄 恵子 (日本赤十字看護大学)  
「ストレスとコーピング」 任 和子 (京都大学大学院医学研究科)

#### ■市民公開講座

内藤 裕二 (京都府立医科大学大学院医学研究科)  
「幸福を招く腸内細菌の育て方」

#### ■ワークショップ

内藤知佐子 (愛媛大学総合臨床研修センター)  
「看護師および患者教育に活用するファシリテーション(仮)」  
森山美知子 (広島大学大学院医学系科学研究科)  
「糖尿病と腎症指導のノウハウ(仮)」

「今さら聞けないフットケア技術」

「1型糖尿病の看護を考える(仮)」

その他、国際交流委員会企画や、日本糖尿病療養指導士認定機構共催プログラム等、様々なプログラムを企画中です。

### 日本糖尿病療養指導士(CDEJ)認定更新のための研修単位について

現地参加者は、看護1群4単位、2群4単位どちらかの研修単位として申告できます。  
また、本学術集会での演題の筆頭発表者は2単位が申告できます。